

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年11月18日(2010.11.18)

【公開番号】特開2010-222379(P2010-222379A)

【公開日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2010-040

【出願番号】特願2010-150627(P2010-150627)

【国際特許分類】

A 6 1 K	35/12	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/76	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 N	5/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	35/12	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	1/16	
C 1 2 N	5/00	1 0 2
C 1 2 N	5/00	Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒトにおいて免疫応答を生成することによって、該ヒトにおける癌を予防または治療するための組成物であって、該組成物は、ヒト フェトプロテインcDNAを発現する組換えベクターで形質導入された樹状細胞を含み、ここで該免疫応答は フェトプロテインペプチド特異的細胞障害性Tリンパ球を活性化して、細胞表面に フェトプロテイン分子の少なくとも一部分を発現する癌細胞に対して免疫応答を生成する、組成物。

【請求項2】

前記ヒト フェトプロテインcDNAが配列番号2のアミノ酸配列をコードする核酸配列を有する、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記樹状細胞が、配列番号2の残基1～9、配列番号2の残基12～20、配列番号2の残基158～166、配列番号2の残基178～186、配列番号2の残基235～243、配列番号2の残基287～295、配列番号2の残基404～412、配列番号2

の残基 4 4 1 ~ 4 5 0 、配列番号 2 の残基 4 9 2 ~ 5 0 0 、配列番号 2 の残基 5 4 2 ~ 5 5 0 、配列番号 2 の残基 5 4 7 ~ 5 5 6 及び配列番号 2 の残基 5 5 5 ~ 5 6 3 から成る群から選択されるアミノ酸配列からなる前記 フェトプロテイン分子の断片ペプチド、あるいは配列番号 3 もしくは配列番号 4 のアミノ酸配列からなる フェトプロテイン分子の断片ペプチド変異体から選択される、1 又は複数のペプチドをその細胞表面に発現する、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

**【請求項 4】**

前記癌が肝細胞癌である、請求項 1 から 3 のいずれか一に記載の組成物。